

「市バス・地下鉄御利用状況調査」の結果について

新たな経営ビジョンの策定に向けて、現在のお客様の市バス・地下鉄の御利用状況を把握し、今後の取組の検討の基礎資料とするため「市バス・地下鉄御利用状況調査」を平成29年12月に実施し、6,500名を超えるお客様に御協力いただきました。

回答結果を基に、お客様の属性ごとのサービスの充実を望まれる項目の分析や、御利用状況の特徴、また、外国人のお客様の回答の特徴をとりまとめました。

1 調査の概要

○日 時 平成29年12月17日（日）午前9時～午後7時
18日（月）午前7時～午後7時 （※両日ともに天候は晴）

○調査場所

- ・市バス主要5停留所：京都駅前，四条河原町，西大路四条，北大路^ハスターミナル，桂駅西口
- ・地下鉄主要6駅：京都駅，四条駅，烏丸御池駅，山科駅，京都市役所前駅，三条京阪駅

○調査内容

- ・お客様の属性に関する項目：年齢，性別，居住地
 - ・御利用の際の移動内容：移動目的，利用区間，乗車前後の乗継手段，利用券種
 - ・サービス充実を望む項目：運行に関する事項，施設に関する事項，乗継利便性に関する事項，その他の事項
- ※ 調査票は<参考>のとおり。

○回答を得られた数

	市バス	地下鉄	計
対面聞き取りによる回答	2,136	2,353	4,489
郵送による回答	1,013	1,042	2,055
計	3,149	3,395	6,544

お客様への聞き取りの様子
(京都駅前バス乗り場，地下鉄駅構内)

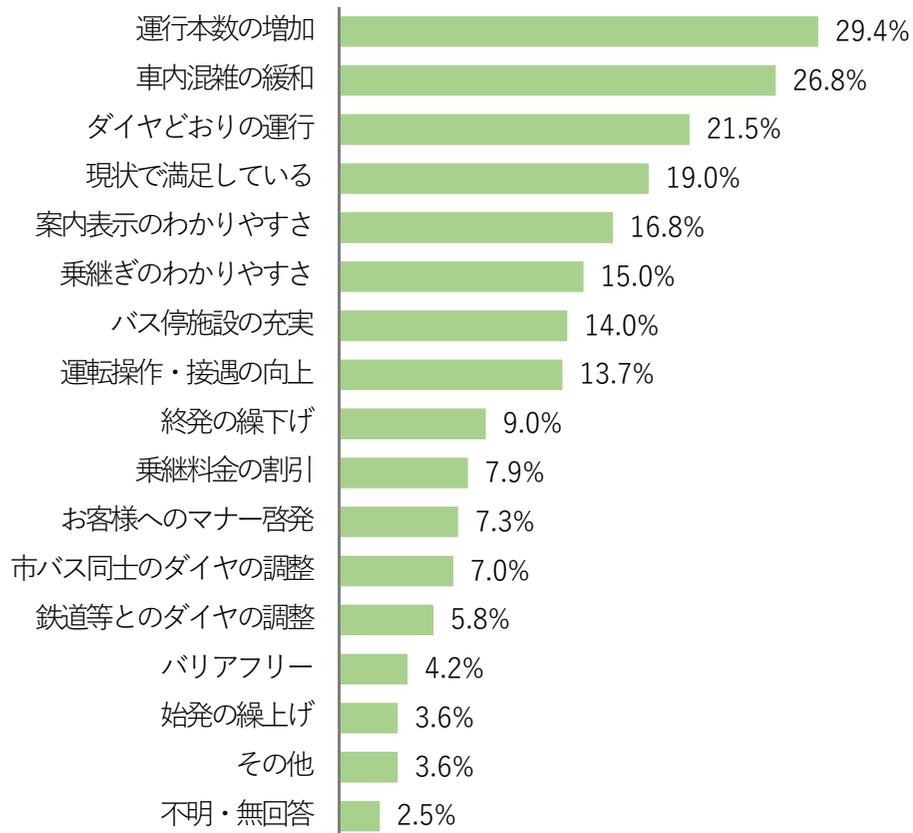


2 サービスの充実を望まれる項目の分析

(1) 市バス

◆ サービスの充実を望まれる項目の集計結果

- 回答全体の集計では、「運行本数の増加」「車内混雑の緩和」「ダイヤどおりの運行」を多くの方が望まれています。
- これらの項目は、属性別で見ても、概ね共通して望まれており、また、調査場所別、曜日別の集計でも概ね同様の傾向となっています。



◆ お客様の属性別の上位項目

① 年齢別に見た上位項目

- 65歳以上の方では、「現状で満足している」との回答が一番多くなっています。このほか「バス停施設の充実」が望まれています。
- 13～64歳の方では、「案内表示のわかりやすさ」や「乗継ぎのわかりやすさ」が望まれています。

属性	上位項目	
	項目	割合
65歳以上(高齢)の方 (回答数961)	現状で満足している	27.3%
	運行本数の増加	22.7%
	ダイヤどおりの運行	19.0%
	車内混雑の緩和	18.1%
	バス停施設の充実	15.2%

属性	上位項目		
	項目	割合	
	13～64歳の方 (回答数2,169)	運行本数の増加	30.8%
		車内混雑の緩和	30.2%
		ダイヤどおりの運行	21.9%
案内表示のわかりやすさ		17.4%	
乗継ぎのわかりやすさ		16.3%	

※ 属性別の分析では、調査票で設定した選択項目に対する回答件数を集計しており、自由記述により回答されたものは含んでいません。

② 御利用目的別に見た上位項目

- 通勤や通院・買物など生活に御利用の方では、「バス停施設の充実」が望まれています。
- 通勤の方を除き、「現状で満足している」との回答も2割程度の方からいただいています。
- 観光・レジャーの方、通学の方では、案内表示や乗継ぎの「わかりやすさ」が望まれています。

通勤の方 (回答数736)	運行本数の増加	36.3%
	車内混雑の緩和	36.1%
	ダイヤどおりの運行	28.1%
	バス停施設の充実	20.0%
	運転操作・接遇の向上	15.2%
通学の方 (回答数201)	運行本数の増加	40.3%
	車内混雑の緩和	26.4%
	ダイヤどおりの運行	24.4%
	現状で満足している	19.9%
	乗継ぎのわかりやすさ	13.9%
通院・買物の方 (回答数790)	運行本数の増加	28.9%
	車内混雑の緩和	28.4%
	ダイヤどおりの運行	21.5%
	現状で満足している	19.9%
観光・レジャーの方 (回答数660)	案内表示のわかりやすさ	26.4%
	運行本数の増加	25.0%
	乗継ぎのわかりやすさ	24.4%
	車内混雑の緩和	21.4%
	現状で満足している	18.9%

③ 居住地別に見た上位項目

- 市民の方では、「バス停施設の充実」が挙げられた一方、市外からお越しの方からは、「わかりやすさ」の充実に関する項目が挙げられています。
- また、市民の方と、その他の都道府県の方では、「現状で満足している」との回答も2割程度の方からいただいています。

市民の方 (回答数2,107)	運行本数の増加	29.6%
	車内混雑の緩和	26.2%
	ダイヤどおりの運行	22.8%
	現状で満足している	18.9%
	バス停施設の充実	14.7%
府下、大阪・ 滋賀・奈良の方 (回答数503)	車内混雑の緩和	33.4%
	運行本数の増加	30.4%
	ダイヤどおりの運行	23.1%
	乗継ぎのわかりやすさ	20.1%
	案内表示のわかりやすさ	19.3%
その他の都道府県の方 (回答数429)	案内表示のわかりやすさ	29.1%
	乗継ぎのわかりやすさ	27.5%
	車内混雑の緩和	23.1%
	現状で満足している	21.9%
	ダイヤどおりの運行	19.1%

● 居住地の市内行政区別の上位5項目（市バスのサービス充実について）

①北区の方（回答数405）

運行本数の増加	33.8%
車内混雑の緩和	27.2%
ダイヤどおりの運行	24.9%
現状で満足している	17.5%
運転操作・接遇の向上	13.1%

④中京区の方（回答数137）

車内混雑の緩和	32.8%
ダイヤどおりの運行	22.6%
運行本数の増加	21.9%
現状で満足している	13.1%
案内表示のわかりやすさ バス停施設の充実	12.4%

⑦下京区の方（回答数132）

車内混雑の緩和	34.1%
ダイヤどおりの運行	31.8%
運行本数の増加	25.8%
バス停施設の充実	19.7%
現状で満足している	16.7%

⑩西京区の方（回答数419）

運行本数の増加	29.8%
現状で満足している	28.9%
バス停施設の充実	12.6%
車内混雑の緩和	11.5%
ダイヤどおりの運行	11.0%

②上京区の方（回答数151）

車内混雑の緩和	33.8%
運行本数の増加	25.8%
ダイヤどおりの運行	25.2%
現状で満足している	17.9%
バス停施設の充実	15.9%

⑤東山区の方（回答数56）

車内混雑の緩和	41.1%
運行本数の増加	26.8%
ダイヤどおりの運行	21.4%
現状で満足している	19.6%
案内表示のわかりやすさ 乗継ぎのわかりやすさ	16.1%

⑧南区の方（回答数90）

運行本数の増加	28.9%
ダイヤどおりの運行	26.7%
車内混雑の緩和	25.6%
バス停施設の充実	20.0%
案内表示のわかりやすさ	17.8%

⑪伏見区の方（回答数130）

運行本数の増加	35.4%
車内混雑の緩和	23.1%
ダイヤどおりの運行	20.8%
現状で満足している	18.5%
バス停施設の充実	17.7%

③左京区の方（回答数225）

ダイヤどおりの運行	32.4%
運行本数の増加	31.1%
車内混雑の緩和	30.2%
バス停施設の充実	17.3%
運転操作・接遇の向上	16.0%

⑥山科区の方（回答数33）

車内混雑の緩和	42.4%
運行本数の増加	30.3%
案内表示のわかりやすさ バス停施設の充実	27.3%
乗継ぎのわかりやすさ	21.2%

⑨右京区の方（回答数329）

車内混雑の緩和	28.9%
運行本数の増加	27.7%
ダイヤどおりの運行	24.6%
現状で満足している	17.0%
バス停施設の充実	12.2%

- 「運行本数」「車内混雑の緩和」「ダイヤどおりの運行」への要望は、各行政区とも概ね共通して多く望まれています。
- 「混雑の緩和」は共通して望まれています。東山区で40%を超える一方、西京区では10%程度と異なる傾向がみられます。
- 「現状で満足している」とのお声も一定数頂いており、半数を超える行政区で上位の5項目に入っています。
- 「バス停施設の充実」については、多くの行政区で10%～20%程度の方が望まれています。

◆ 市バスの過年度調査（H24調査）との比較

- 市バスにおいては、過去（H24）にサービスの充実を望まれる項目に関する調査（市バスお客様アンケート調査）を行ったことがあるため、その調査との比較を行いました。
- バス待ち環境の充実をはじめ各種サービス向上策を展開してきたこともあり、「バス停施設の充実」や「ダイヤどおりの運行」を望まれる割合が低下したほか「現状で満足している」と回答された方の割合が増加しています。
- 一方で、「車内混雑の緩和」について望まれる方の割合が増加しています。

主な項目	今回調査	H24調査	増減
運行本数の増加	29.4%	31.4%	△2.0%
車内混雑の緩和	26.8%	21.0%	5.8%
ダイヤどおりの運行	21.5%	36.1%	△14.6%
現状で満足している	19.0%	9.2%	9.8%
案内表示のわかりやすさ	16.8%	-	-
乗継ぎのわかりやすさ	15.0%	-	-
バス停施設の充実	14.0%	30.9%	△16.9%
運転操作、接遇の向上	13.7%	-	-
終発の繰下げ	9.0%	12.8%	△3.8%
乗継料金の割引	7.9%	10.2%	△2.3%
お客様へのマナー啓発	7.3%	-	-
市バス同士のダイヤの調整	7.0%	-	-
鉄道等とのダイヤの調整	5.8%	5.3%	0.5%
バリアフリー	4.2%	-	-
始発の繰上げ	3.6%	3.4%	0.2%
その他	3.6%	13.6%	△10.0%

※ H24調査で「-」となっているものは、調査項目として設定していなかったもの

前回調査との主な相違

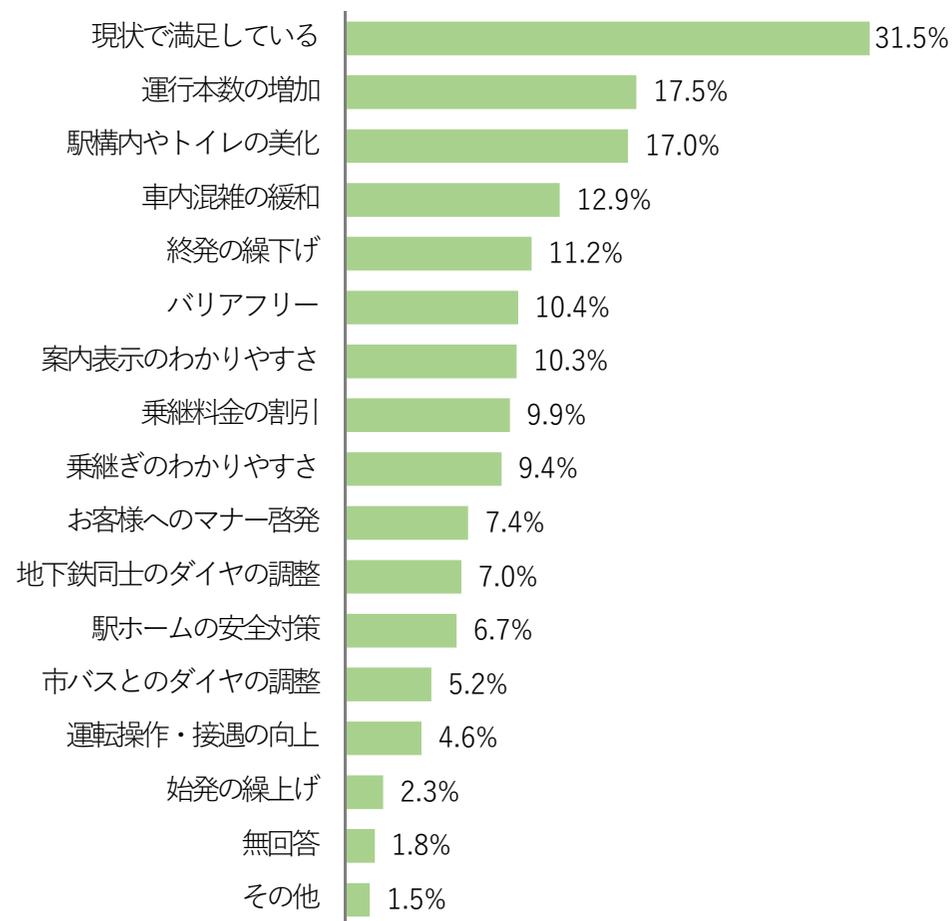
	H24調査	今回調査
調査バス停	14箇所	5箇所
回答数	4,413件 ※回収率33.9%	3,149件 対面2,136件 郵送1,013件 ※回収率33.8%
調査日	平成24年6月17日（日） 平成24年6月21日（木） 平成24年6月23日（土）	平成29年12月17日（日） 平成29年12月18日（月）
調査方法	郵送 (13,010枚配布)	・対面 ・郵送(3,000枚配布)

※ 前回調査とは設定している調査項目が異なるものがあるため、すべての項目を比較できません。

(2) 地下鉄

◆ サービスの充実を望まれる項目の集計結果

- 回答全体の集計では、「現状で満足している」との回答の割合が一番多く、次いで「運行本数の増加」「駅構内やトイレの美化」を多くの方が望まれています。
- これらの項目は、属性別で見ても、概ね共通して望まれており、また、調査場所別、曜日別の集計でも概ね同様の傾向となっています。



◆ お客様の属性別の上位項目

① 年齢別に見た上位項目

- 「現状で満足している」「運行本数の増加」「駅構内やトイレの美化」といった項目が共通で望まれています。
- 高齢の方では、64歳までの方の回答に比べ、「現状で満足している」との回答の割合が高かったほか、「バリアフリー」や「乗継ぎのわかりやすさ」が望まれています。

属性	項目	割合
65歳以上(高齢)の方 (回答数741)	現状で満足している	41.6%
	駅構内やトイレの美化	12.4%
	運行本数の増加	10.8%
	バリアフリー	9.9%
	乗継ぎのわかりやすさ	9.3%
13~64歳の方 (回答数2,635)	現状で満足している	28.5%
	運行本数の増加	19.1%
	駅構内やトイレの美化	18.0%
	車内混雑の緩和	14.2%
	終発の繰下げ	13.2%

※ 属性別の分析では、調査票で設定した選択項目に対する回答件数を集計しており、自由記述により回答されたものは含んでいません。

② 御利用目的別に見た上位項目

- 通勤、通学などラッシュ時間帯に御利用される方では、「車内混雑の緩和」を望まれています。また、通院・買物で御利用される方では、「バリアフリー」が挙げられています。
- 一方、観光でお越しの方では、「わかりやすさ」の充実に関する項目が挙げられています。

通勤の方 (回答数975)	運行本数の増加	25.2%
	駅構内やトイレの美化	23.4%
	車内混雑の緩和	19.7%
	現状で満足している	19.1%
	終発の繰下げ	14.6%
通学の方 (回答数241)	現状で満足している	31.5%
	運行本数の増加	24.1%
	車内混雑の緩和	18.7%
	駅構内やトイレの美化	16.6%
	終発の繰下げ	11.6%
通院・買物の方 (回答数790)	現状で満足している	34.3%
	駅構内やトイレの美化	15.8%
	運行本数の増加	12.9%
	終発の繰下げ	11.3%
	バリアフリー	10.3%
観光・レジャーの方 (回答数653)	現状で満足している	36.0%
	案内表示のわかりやすさ	15.6%
	駅構内やトイレの美化	13.6%
	運行本数の増加	13.0%
	乗継ぎのわかりやすさ	12.1%

③ 居住地別に見た上位項目

- いずれの居住地の方も、「現状で満足している」との回答の割合が高い状況でした。
- 地下鉄を利用される機会が多いと考えられる市民の方、府下及び近隣府県の方では、「駅構内やトイレの美化」が望まれています。
- その他の都道府県の方では、「わかりやすさ」の充実に関する項目が挙げられています。

市民の方 (回答数1,902)	現状で満足している	29.6%
	駅構内やトイレの美化	18.2%
	運行本数の増加	17.1%
	終発の繰下げ	13.8%
	車内混雑の緩和	11.7%
府下、大阪・ 滋賀・奈良の方 (回答数1,027)	現状で満足している	30.5%
	運行本数の増加	18.8%
	駅構内やトイレの美化	18.2%
	乗継料金の割引	9.8%
その他の都道府県の方 (回答数464)	現状で満足している	41.2%
	案内表示のわかりやすさ	13.8%
	運行本数の増加	13.8%
	乗継ぎのわかりやすさ	12.5%
	車内混雑の緩和	11.6%

● 居住地の市内行政区別の上位5項目（地下鉄のサービス充実について）

①北区の方（回答数143）

現状で満足している	25.9%
駅構内やトイレの美化 運行本数の増加	14.7%
駅ホームの安全対策	13.3%
乗継料金の割引 終発の繰下げ	12.6%

④中京区の方（回答数300）

現状で満足している	27.0%
駅構内やトイレの美化	20.3%
運行本数の増加	19.7%
終発の繰下げ	18.0%
乗継料金の割引	11.7%

⑦下京区の方（回答数122）

現状で満足している	25.4%
車内混雑の緩和	23.0%
運行本数の増加	21.3%
駅構内やトイレの美化	18.0%
お客様へのマナー啓発	13.9%

⑩西京区の方（回答数102）

現状で満足している	31.4%
運行本数の増加	24.5%
駅構内やトイレの美化 車内混雑の緩和	19.6%
バリアフリー	12.7%

②上京区の方（回答数107）

現状で満足している	24.3%
運行本数の増加	22.4%
駅ホームの安全対策 終発の繰下げ	16.8%
乗継料金の割引 駅構内やトイレの美化	15.9%

⑤東山区の方（回答数49）

現状で満足している	40.8%
運行本数の増加 駅構内やトイレの美化	16.3%
終発の繰下げ	14.3%
車内混雑の緩和	10.2%

⑧南区の方（回答数55）

現状で満足している	30.9%
運行本数の増加	21.8%
終発の繰下げ 駅構内やトイレの美化	16.4%
乗継料金の割引	14.5%

⑪伏見区の方（回答数265）

現状で満足している	34.7%
駅構内やトイレの美化	15.5%
運行本数の増加	13.6%
車内混雑の緩和	11.7%
バリアフリー	9.4%

③左京区の方（回答数249）

現状で満足している	23.3%
駅構内やトイレの美化	22.1%
運行本数の増加	21.3%
終発の繰下げ	17.7%
市バスとのダイヤ調整	12.4%

⑥山科区の方（回答数376）

現状で満足している	33.5%
駅構内やトイレの美化	17.8%
終発の繰下げ 運行本数の増加	12.2%
車内混雑の緩和 お客様へのマナー啓発	9.6%

⑨右京区の方（回答数134）

現状で満足している	32.1%
駅構内やトイレの美化	19.4%
車内混雑の緩和	16.4%
終発の繰下げ	14.9%
市バスとのダイヤ調整	12.7%

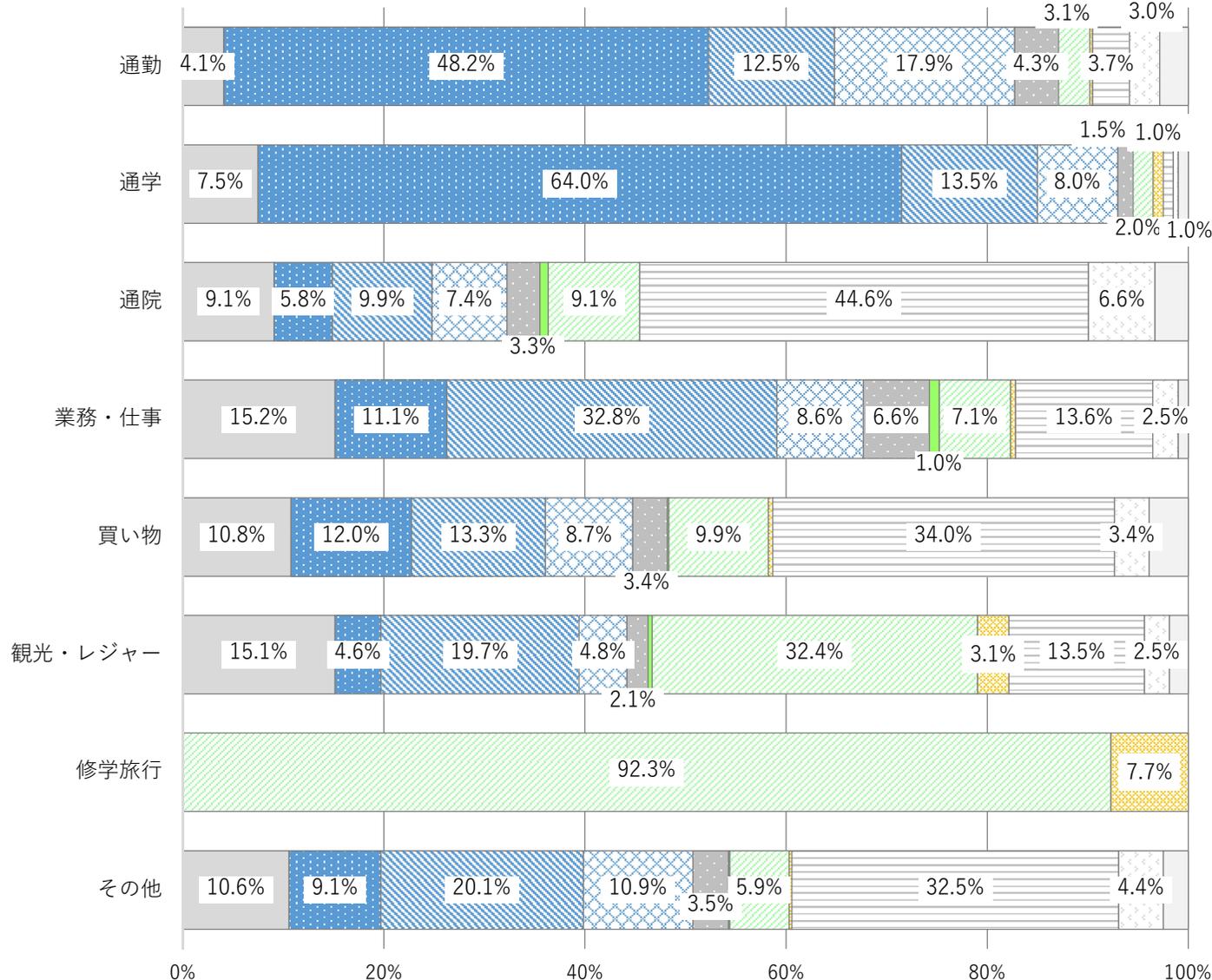
- 全ての行政区で、「現状で満足している」との回答が最も多くなっています。
- 「運行本数の増加」「駅構内やトイレの美化」が、共通して多く望まれています。
- 烏丸線で可動式ホーム柵が未設置の駅がある北区，上京区で，「駅ホームの安全対策」を望まれる声があります。
- 「車内混雑の緩和」については，下京区で23%となっていますが，区によって異なる傾向が見られます。

3 御利用状況の分析 (御利用目的や居住地などを基にした分析)

(1) 市バス

◆ 目的別の御利用券種の状況 (市バス)

※割合が1%に満たないものは数値記載を省略しています。

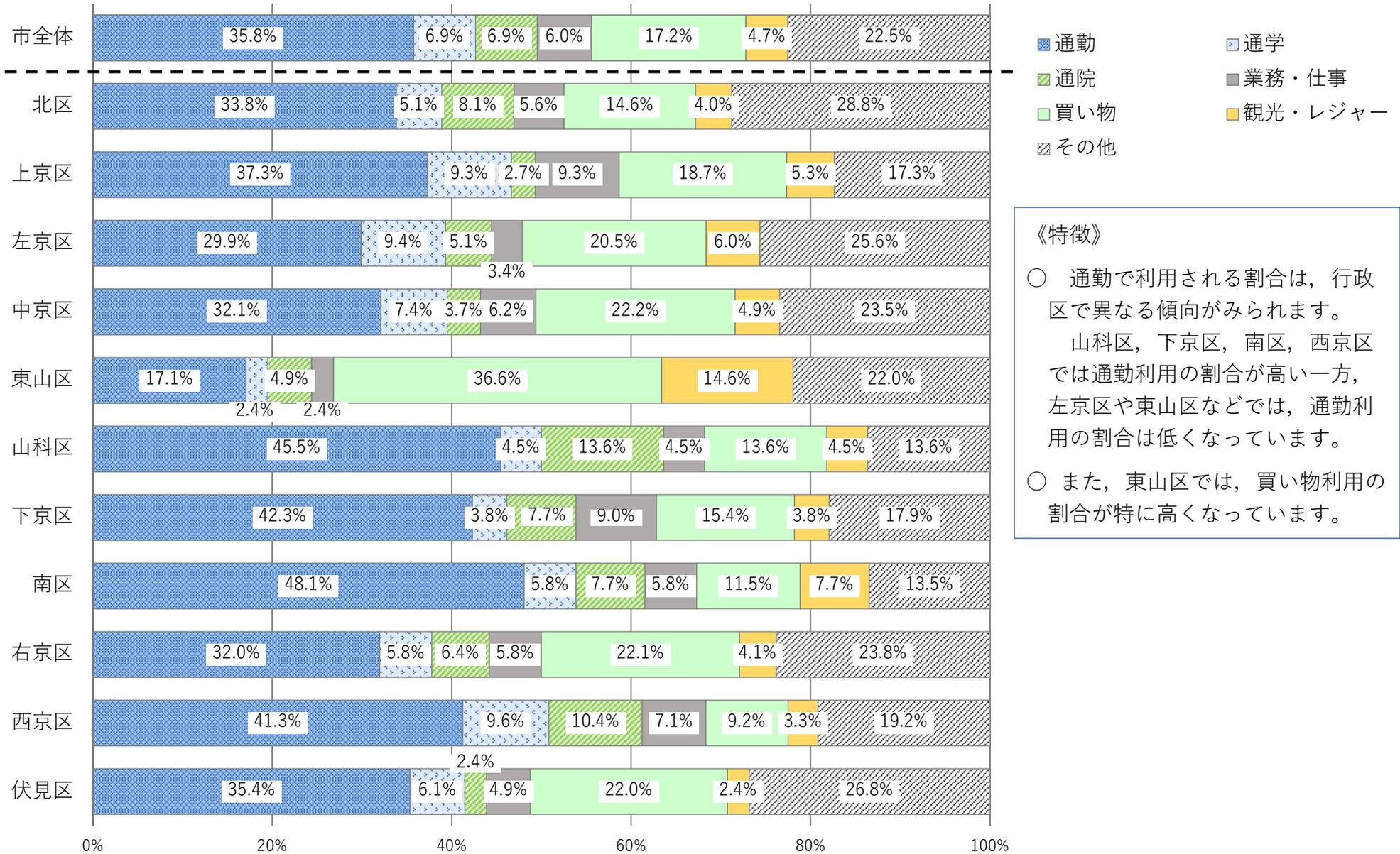


- 現金
- 定期券・IC定期券
- 交通系ICカード
- 回数券
- トフィカ京カード
- スッとKANSAIカード
- 市バス・京都バス一日乗車券
- 京都観光一日・二日乗車券
- 敬老乗車証
- その他
- 不明・無回答

《特徴》

- 定期券の御利用の割合は、通勤目的の方で約5割、通学目的の方で約6割程度にとどまります。様々な券種を組み合わせで利用され、市バスでは回数券が、通勤で約2割、通学で約1割程度利用されています。
- 通院、買い物では敬老乗車証の御利用が多く、業務・仕事では、交通系ICカードでの御利用が多くなっています。
- 観光・レジャーでは、市バス・京都バス一日乗車券と交通系ICカードの御利用が多くなっています。

◆ 居住行政区別に見た御利用目的の状況（市バス・平日のみ）



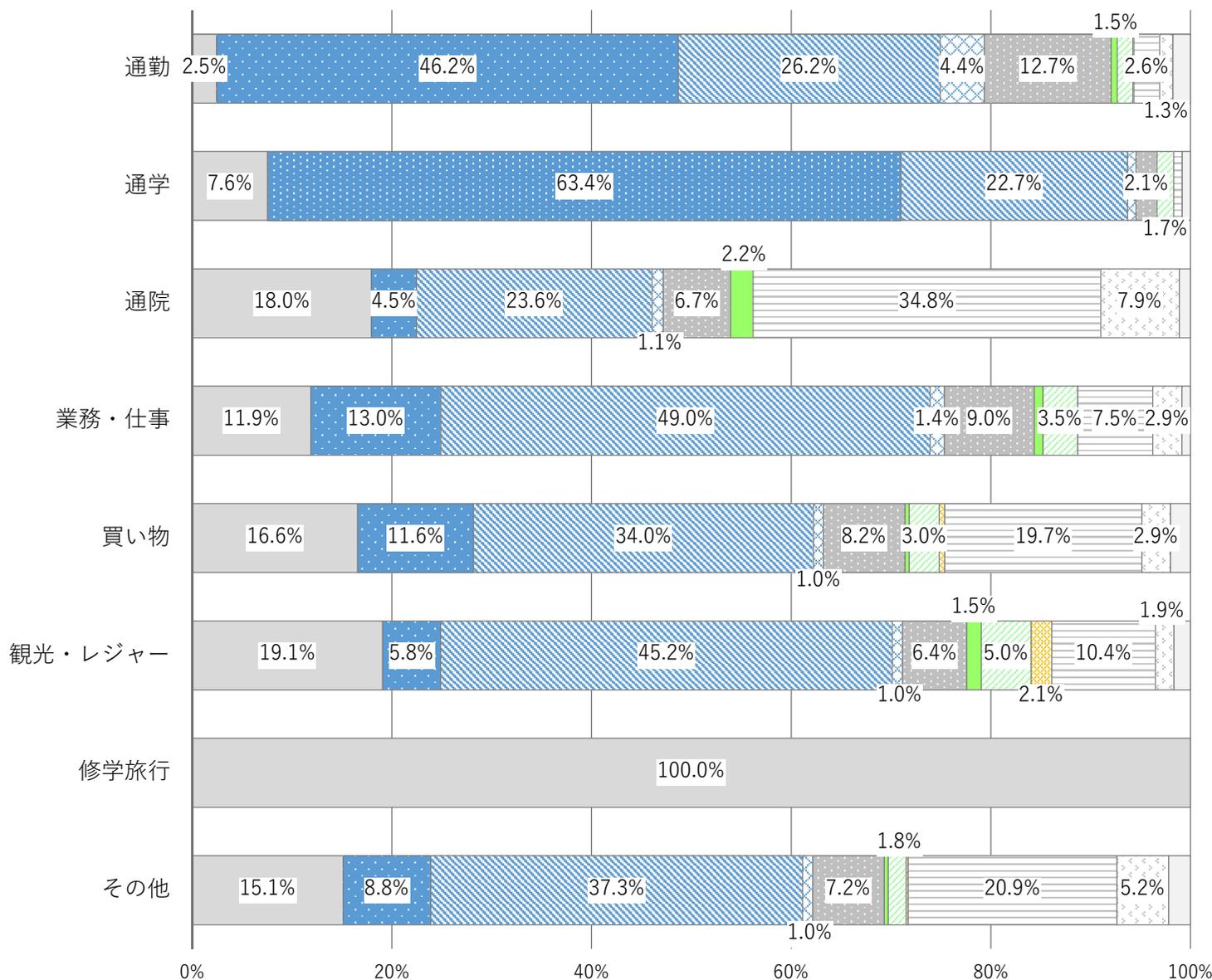
《特徴》

- 通勤で利用される割合は、行政区で異なる傾向がみられます。山科区，下京区，南区，西京区では通勤利用の割合が高い一方，左京区や東山区などでは，通勤利用の割合は低くなっています。
- また，東山区では，買い物利用の割合が特に高くなっています。

(2) 地下鉄

◆ 目的別の御利用券種の状況（地下鉄）

※割合が1%に満たないものは数値記載を省略しています。

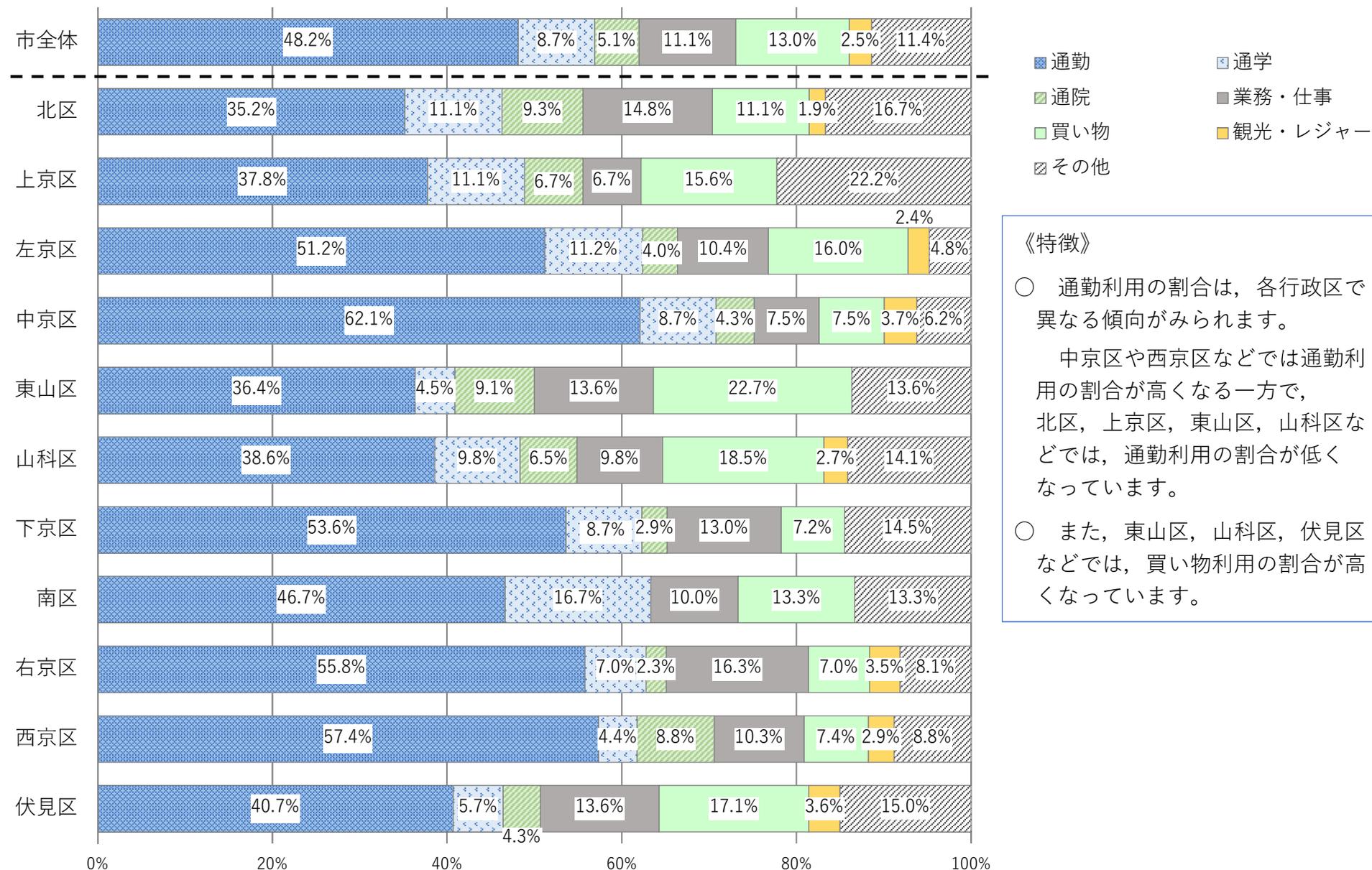


- 現金（普通券）
- 定期券・IC定期券
- 交通系ICカード
- 回数券
- トラフィカ京カード
- スルッとKANSAIカード
- 地下鉄1dayフリーチケット
- 京都観光一日・二日乗車券
- 敬老乗車証
- その他
- 不明・無回答

《特徴》

- 定期券の御利用の割合は、通勤目的の方で約5割、通学目的の方で約6割程度にとどまります。
通勤・通学では、様々な券種を組み合わせ利用され、交通系ICカードで2～3割の御利用があるほか、通勤では、トラフィカ京カードの御利用も約1割程度あります。
- 通院、買い物では敬老乗車証の御利用が多いですが、市バスに比べ、交通系ICカードでも多く御利用いただいています。
- 観光・レジャーでは、交通系ICカードの御利用が多くなっています。

◆ 居住行政区別に見た御利用目的の状況（地下鉄・平日のみ）



《特徴》

- 通勤利用の割合は、各行政区で異なる傾向がみられます。
中京区や西京区などでは通勤利用の割合が高くなる一方で、北区、上京区、東山区、山科区などでは、通勤利用の割合が低くなっています。
- また、東山区、山科区、伏見区などでは、買い物利用の割合が高くなっています。

(参考) 御利用目的の過去調査結果との比較 (※)

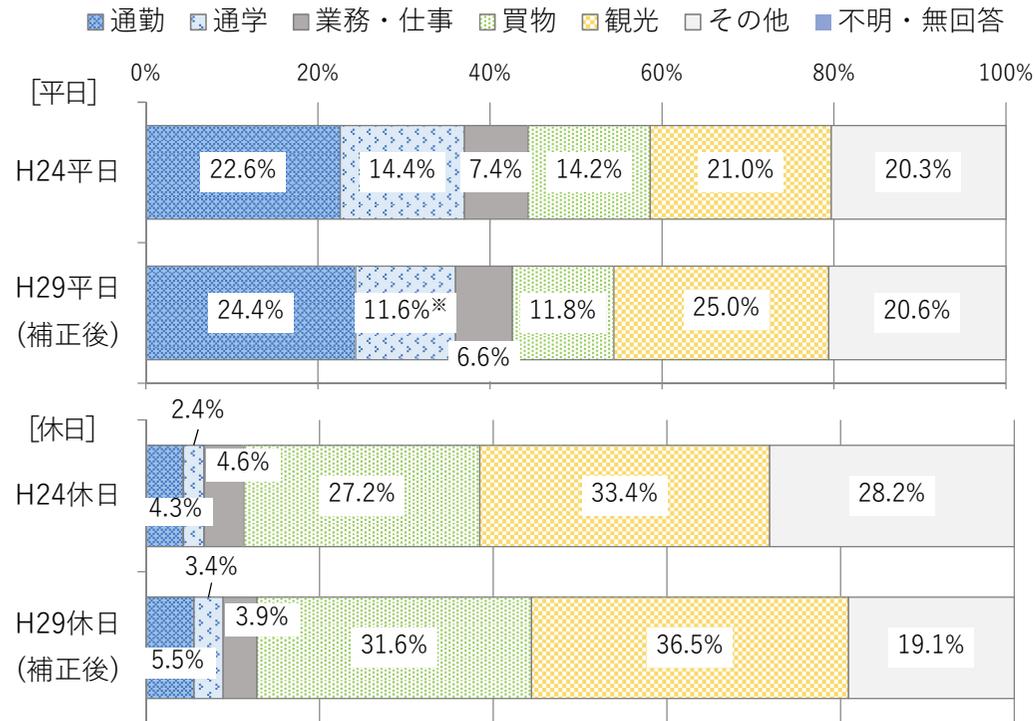
※ 過去の調査と今回の調査は、調査の対象や手法が異なるため、正確な経年比較は行うことはできません。

このため、この比較は、調査場所ごとのサンプル数と実際の降車客数との規模の違いによる調査結果の偏りを調整するなどの補正処理を行ったうえで、大きな傾向を見るための参考として行っています。

(1) 市バス

(今回の調査箇所での平成24年度市バス旅客流動調査の結果との比較)

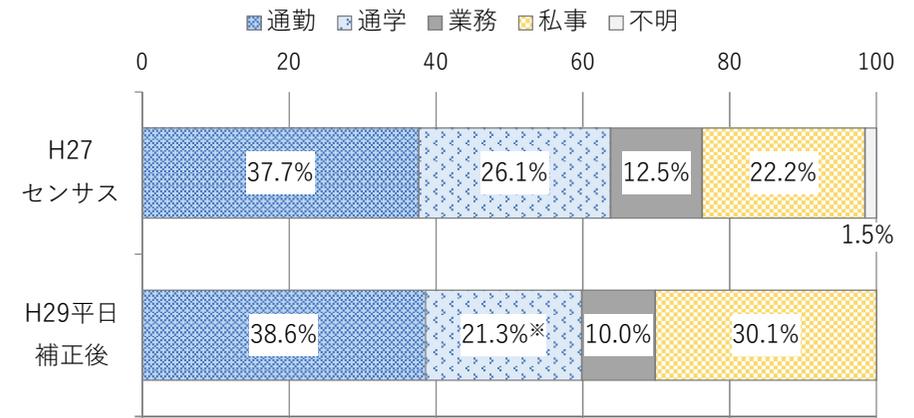
- この間の定期での御利用の伸びや、観光客の増を反映し、平日については、通勤利用や観光利用が増加した一方、業務・仕事利用が減少しています。
- 休日についても、観光利用のほか、買物での利用も増加しました。



(2) 地下鉄

(今回の調査箇所での平成27年度大都市交通センサスの結果との比較)

- 業務及び通学利用との回答が減少する一方、通勤の増加とともに、観光や買い物等の「私事利用」との回答が大きく増加しています。



◇ 大都市交通センサスにおける移動目的は、「通勤」「通学」「業務」「私事」「その他」の5区分となっています。

◇ 大都市交通センサスは平日調査であったため、休日の比較結果はありません。

※ 今回調査ではラッシュ時間帯の御利用者には郵送で回答いただく方式としましたが、若年層からの郵送での回答数が少なかったことにより、通学利用との回答数が少なくなったものと考えています。

4 外国人のお客様の調査結果

(1) 市バス

京都駅前バスターミナルにおいて、2箇国語（日英1名，日中1名）を話すことができる調査員を配置して外国の方への調査を行い，市バスでは190件の回答を得ました。

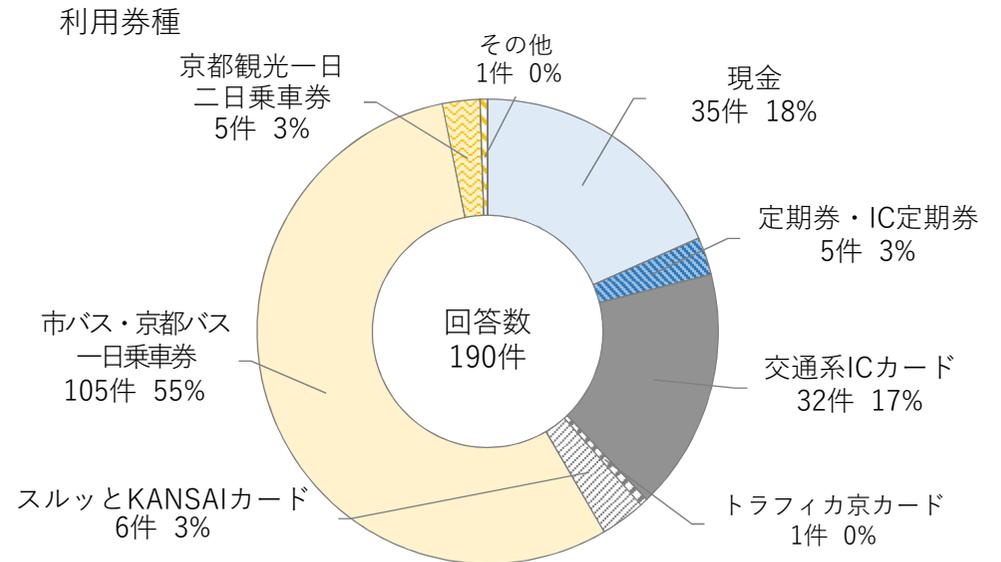
住所（国） （上位10箇国）		
中国		17.9%
香港		12.6%
台湾		11.1%
シンガポール		8.4%
アメリカ		6.8%
オーストラリア		6.3%
タイ		6.3%
マレーシア		6.3%
韓国		4.7%
インドネシア		3.2%

中国，香港，台湾，シンガポールをはじめ，アジアから来日された方が高い割合を占めています。

利用目的		
観光・レジャー		93.7%
業務・仕事		3.7%
※その他は2%未満		

行先 （上位5か所） 〈京都駅前での聞き取り〉		
五条坂		28.3%
嵐山		14.4%
稲荷大社前		13.4%
祇園		13.4%
清水道		6.4%

京都駅からの行先については，五条坂（清水道），嵐山，稲荷大社前，祇園など，観光地最寄りのバス停を御利用されている方が大半でした。



6割近い方が「市バス・京都バス一日乗車券」を利用され，2割弱の方が「交通系ICカード」を利用されていました。わかりやすい乗車券に対するニーズが高いものと考えられます。

サービス充実を望む項目 （上位5項目）		
運行本数の増加		32.1%
案内表示のわかりやすさ		31.6%
乗継ぎのわかりやすさ		20.5%
終発の繰り下げ		16.8%
現状で満足している		16.3%

案内表示，わかりやすさに関する要望が多く寄せられました。

(2) 地下鉄

京都駅構内において、2箇国語（日英1名，日中1名）を話すことができる調査員を配置して外国の方への調査を行い，地下鉄では184件の回答を得ました。

住所（国） （上位10箇国）		
台湾		17.9%
中国		16.8%
オーストラリア		12.5%
アメリカ		10.3%
香港		8.7%
シンガポール		7.6%
イギリス		5.4%
韓国		3.8%
カナダ		2.7%
タイ		2.2%

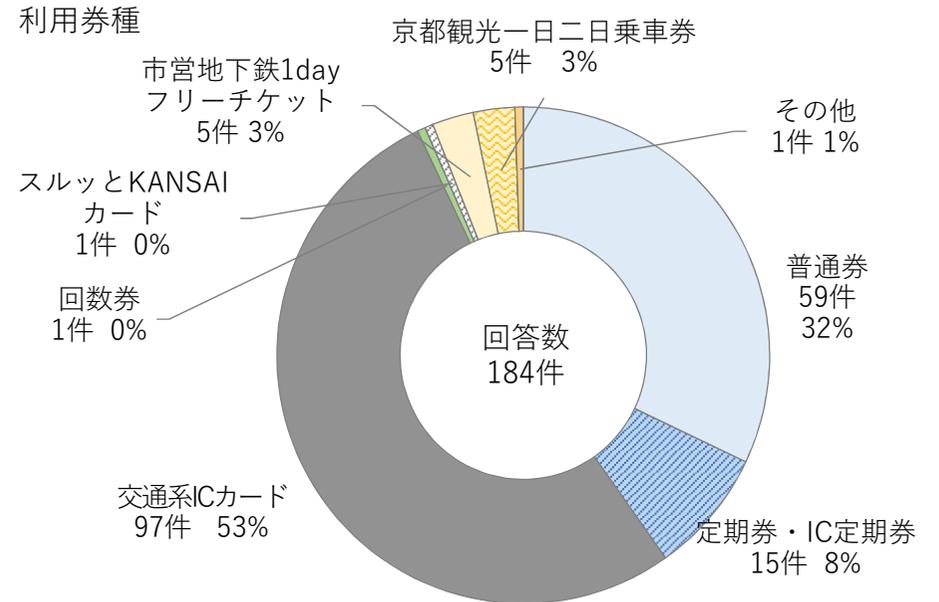
台湾，中国，香港，シンガポールをはじめ，アジアから来日された方が高い割合を占めています。

利用目的		
観光・レジャー		93.0%
通勤		3.3%

※その他は2%未満

行先 （上位5か所） 〈京都駅での聞き取り〉		
四条		42.4%
烏丸御池		13.6%
五条		9.8%
京都		7.6%
北大路		6.0%

京都駅からの行先については，烏丸御池，四条，五条など，近隣の駅への利用が多く，繁華街への買い物や宿泊施設への移動に利用されたと考えられます。



過半数（53%）の方が「交通系ICカード」を利用されており，現金で切符を購入される方も3割程度おられました。

サービス充実を望む項目 （上位5項目）		
現状で満足している		46.7%
案内表示のわかりやすさ		22.3%
車内混雑の緩和		14.1%
運行本数の増加		11.4%
乗継ぎのわかりやすさ		11.4%

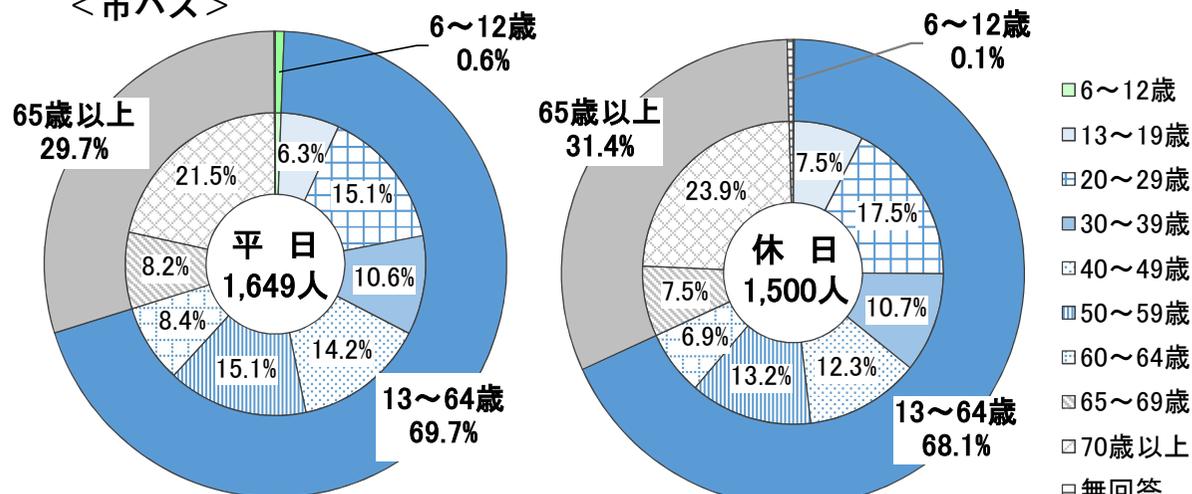
案内表示，わかりやすさに関する要望が多く寄せられました。

5 御利用状況の回答の集計の結果（属性と御利用状況）

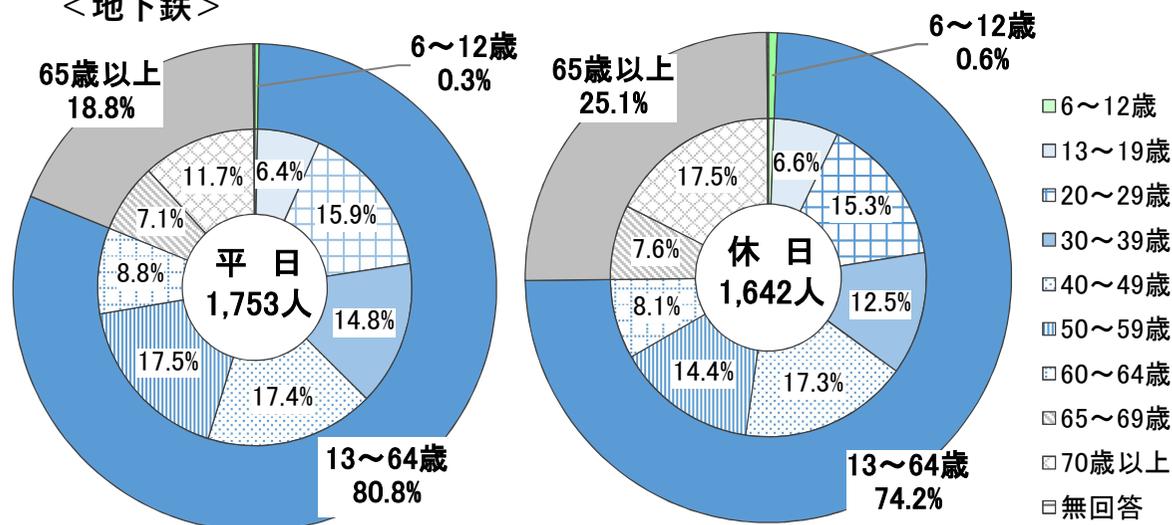
(1) 御利用者の属性

【年 齢】

<市バス>



<地下鉄>



《集計の結果》

①市バス

- ・平日、休日とも13歳～64歳が約7割、65歳以上が約3割を占めています。
- ・平日と休日とで年齢の内訳の構成比に大きな違いはありません。

②地下鉄

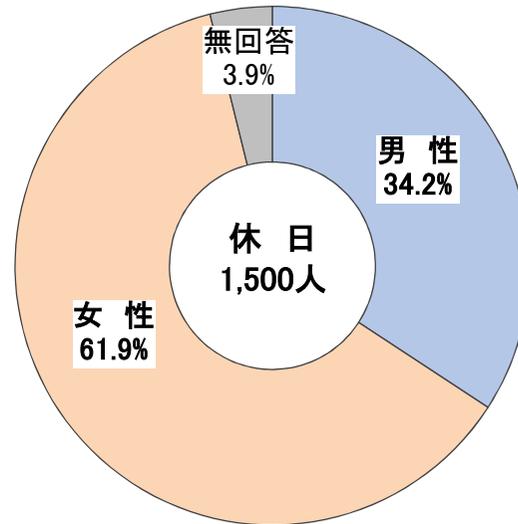
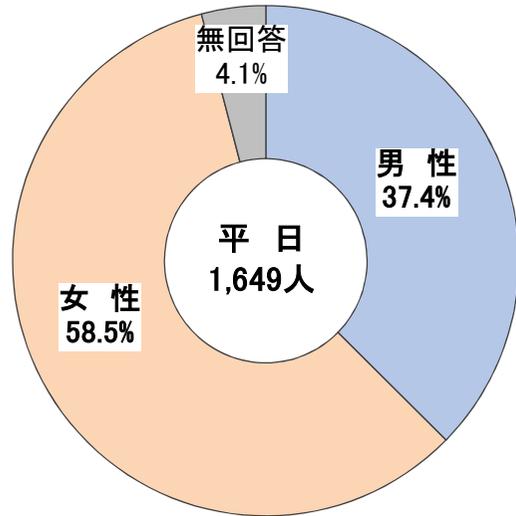
- ・平日は、13歳～64歳が約8割、65歳以上が約2割を占めています。
- ・休日は、13歳～64歳が74%、65歳以上が25%となり、高齢者の割合が高くなっています。
(50～59歳、30～39歳の割合が下がり、70歳以上の方の割合が高くなっています。)

③市バス・地下鉄

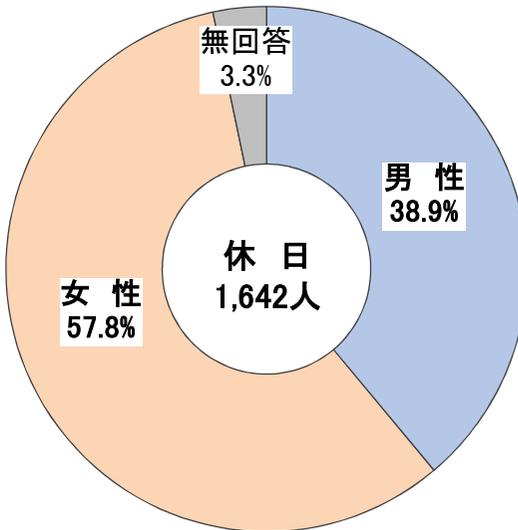
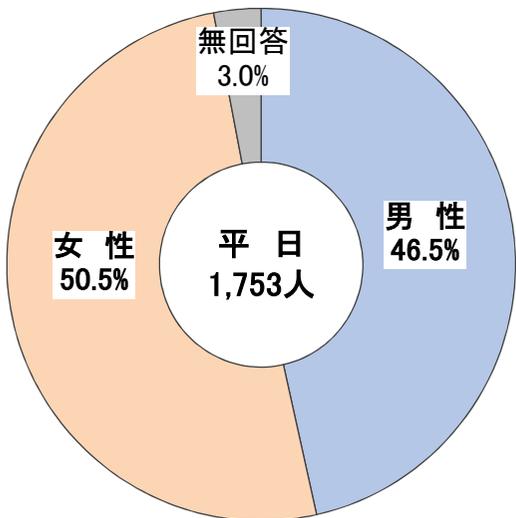
- ・地下鉄に比べて市バスの方が高齢者の方に多く御利用いただいています。
- ・「通勤」で利用される方が少なくなる休日について、地下鉄の方が、平日に比べて変化が大きくなっています。

【性別】

<市バス>



<地下鉄>



《集計の結果》

①市バス

・平日，休日とも，男性が3割強～4割弱，女性が6割前後となっています。

（この他，不明・無回答者が存在します）

②地下鉄

・平日，休日とも，男性が4割前後，女性が5割前後となっています。

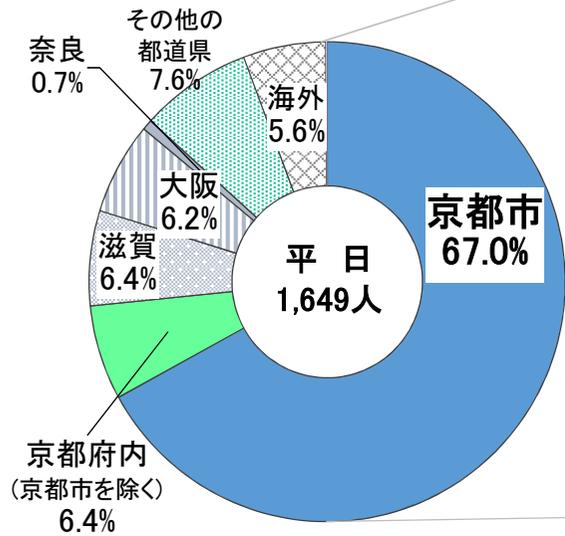
（この他，不明・無回答者が存在します）

③市バス・地下鉄

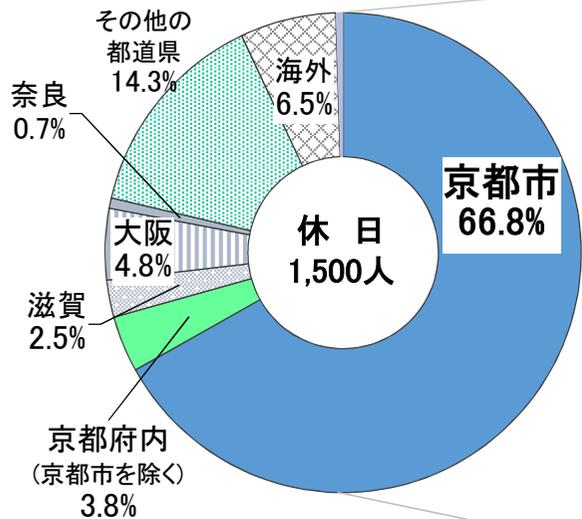
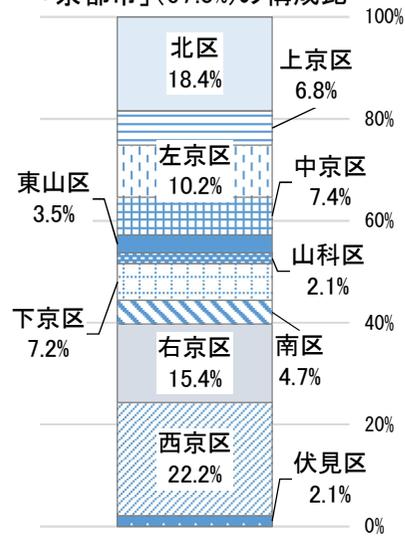
・地下鉄に比べ市バスの方が女性の割合が高くなっています。

【住所】

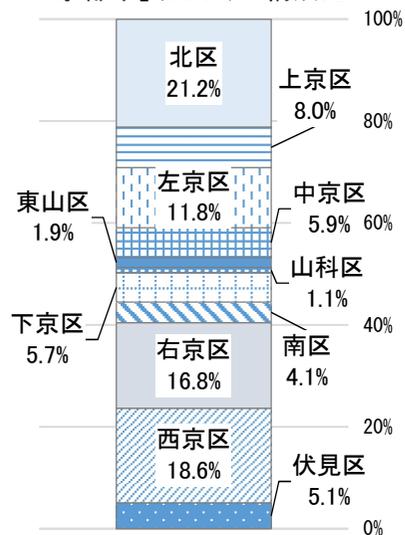
<市バス>



「京都市」(67.0%)の構成比



「京都市」(66.8%)の構成比



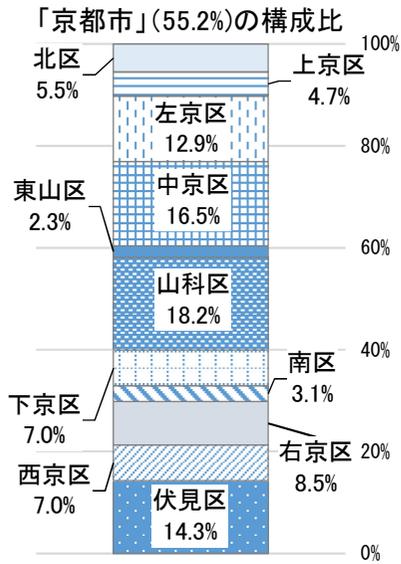
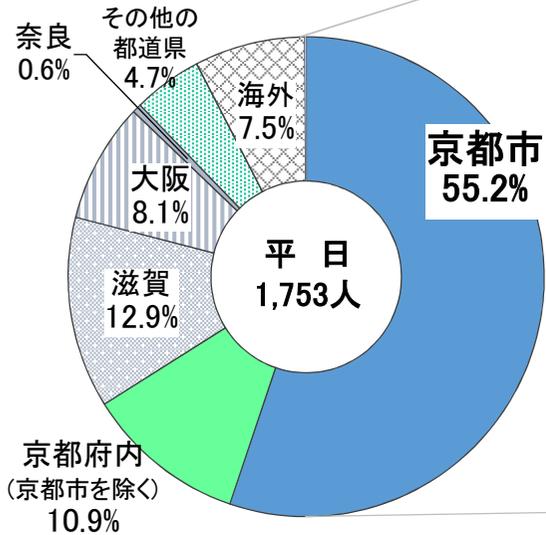
《集計の結果》

① 市バス

- ・平日、休日とも市内在住のお客様が67%，それ以外在住のお客様が33%を占めています。
- ・京都市外在住のお客様については、平日では、府内、滋賀、大阪等近隣の方の割合が約6割を占めますが、休日は約4割となり、その他の都道府県の方の割合が大きく増加しています。
- ・地下鉄に比べ、市バスの方が、市内在住のお客様の割合が高くなっています。

【住 所】

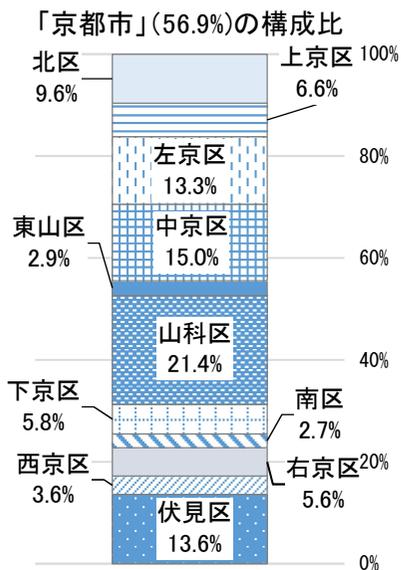
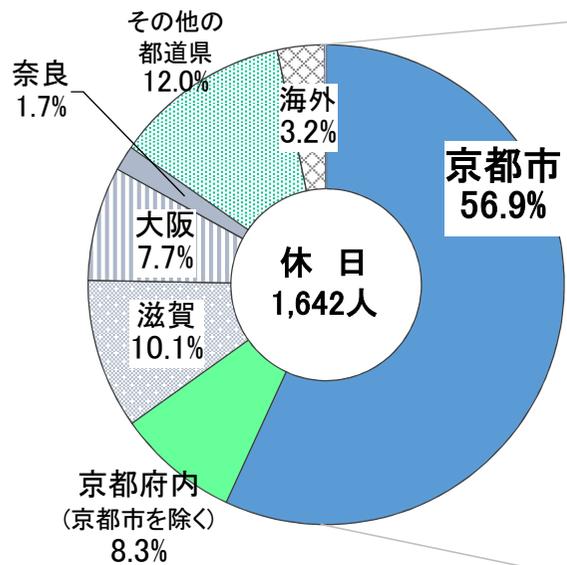
<地下鉄>



《集計の結果》

② 地下鉄

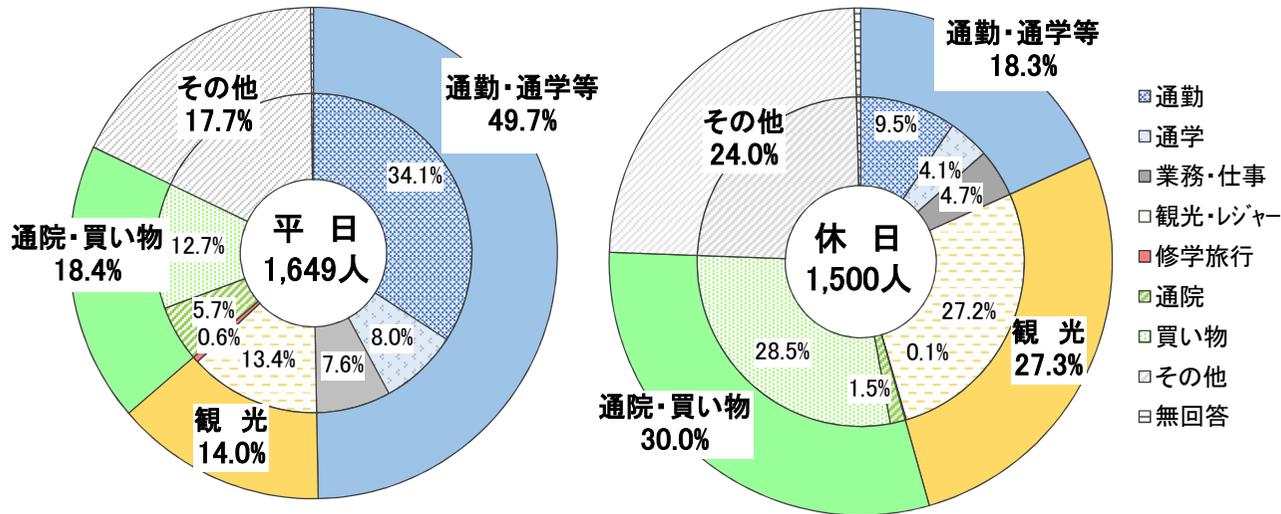
- ・平日、休日とも市内在住のお客様が55～57%、府外在住のお客様が35%前後を占めています。
- ・京都市外在住のお客様については、平日では、府内、滋賀、大阪等近隣の方の割合が約8割を占めますが、休日は約6割となり、その他の都道府県の方の割合が大きく増加しています。
- ・市バスに比べ、地下鉄の方が、市外在住のお客様の割合が高くなっています。



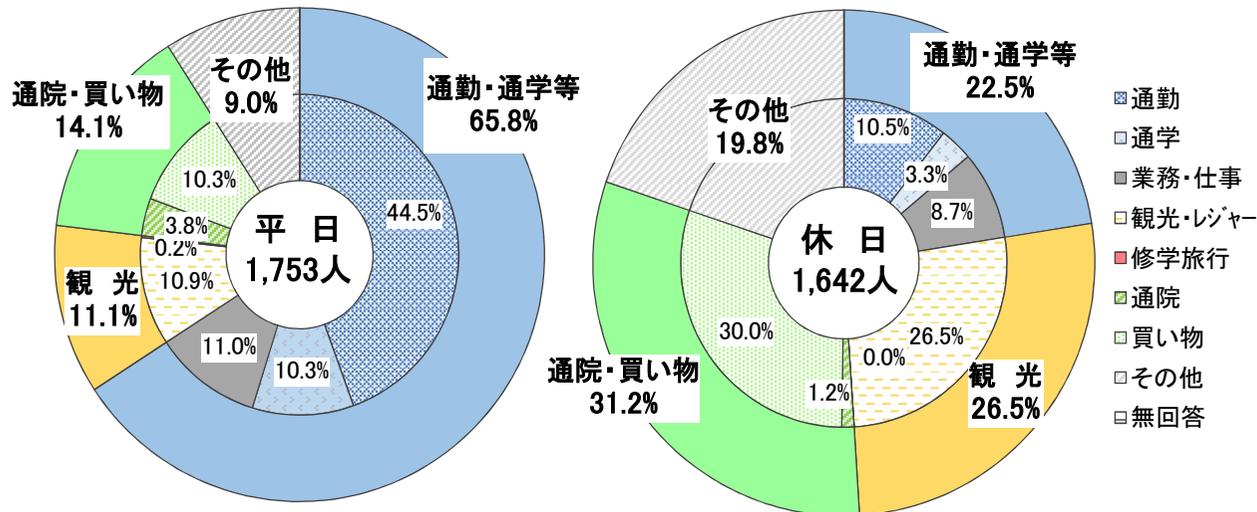
(2) 御利用の際の移動内容

【御利用目的】

<市バス>



<地下鉄>



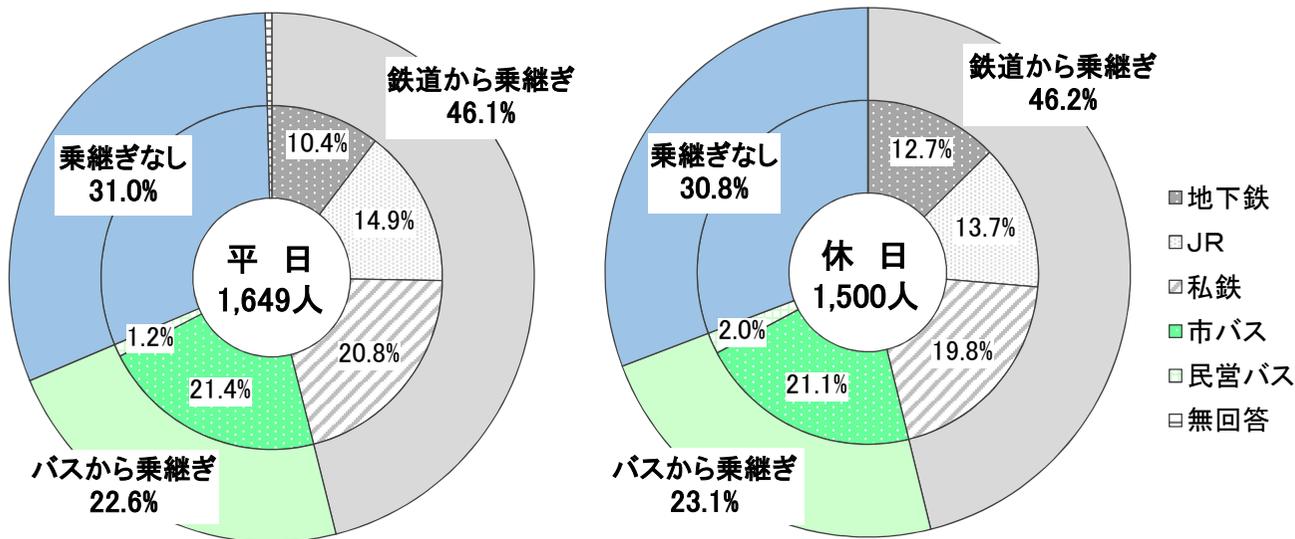
《集計の結果》

- ① 市バス
 - ・平日では、「通勤・通学等」が50%、「通院・買い物」が18%であり、これらをあわせた約7割の方が日常利用で御利用いただいています。
 - ・休日では、「通勤・通学等」が18%にとどまる一方、「通院・買い物」が30%、「観光」が27%を占める結果となりました。
- ② 地下鉄
 - ・平日では「通勤・通学等」が66%、「通院・買い物」が14%であり、これらをあわせた約80%が日常利用で御利用いただいています。
 - ・休日では、「通勤・通学等」が23%にとどまる一方、「通院・買い物」が31%、「観光」が27%を占める結果となりました。
- ③ 特徴
 - ・市バスに比べ地下鉄の方が「通勤・通学」で御利用される割合が高くなっています。

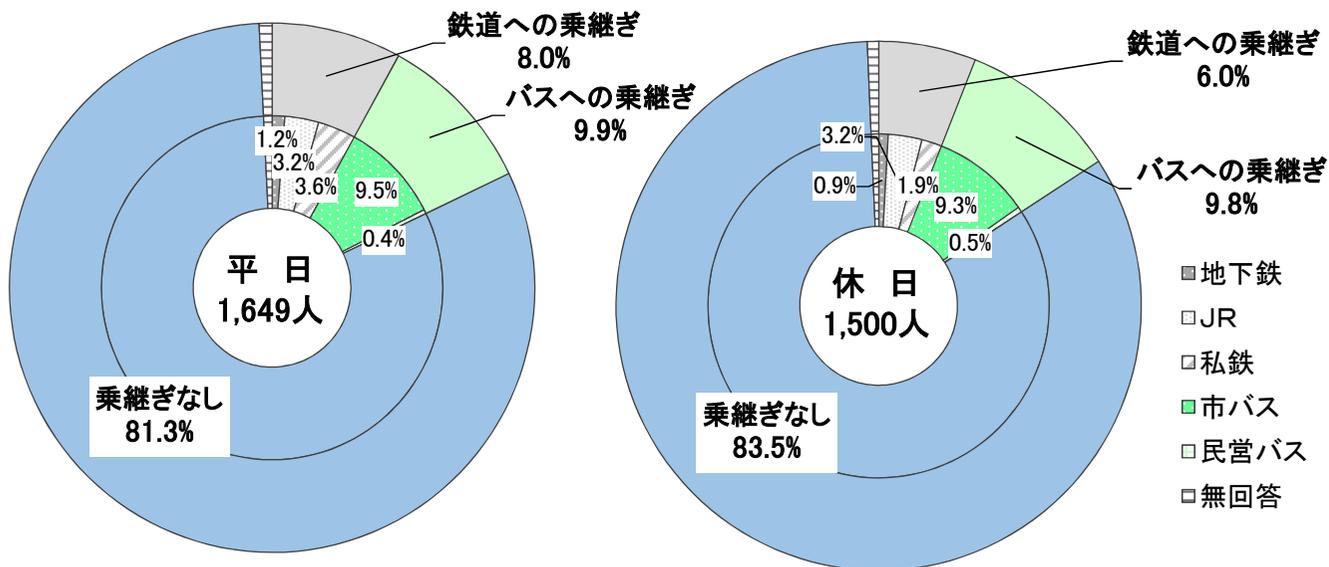
【他の交通機関との乗継ぎ】

<市バス>

(乗車されたバス停への乗継ぎ)



(降車されたバス停からの乗継ぎ)



《集計の結果》

① 市バス

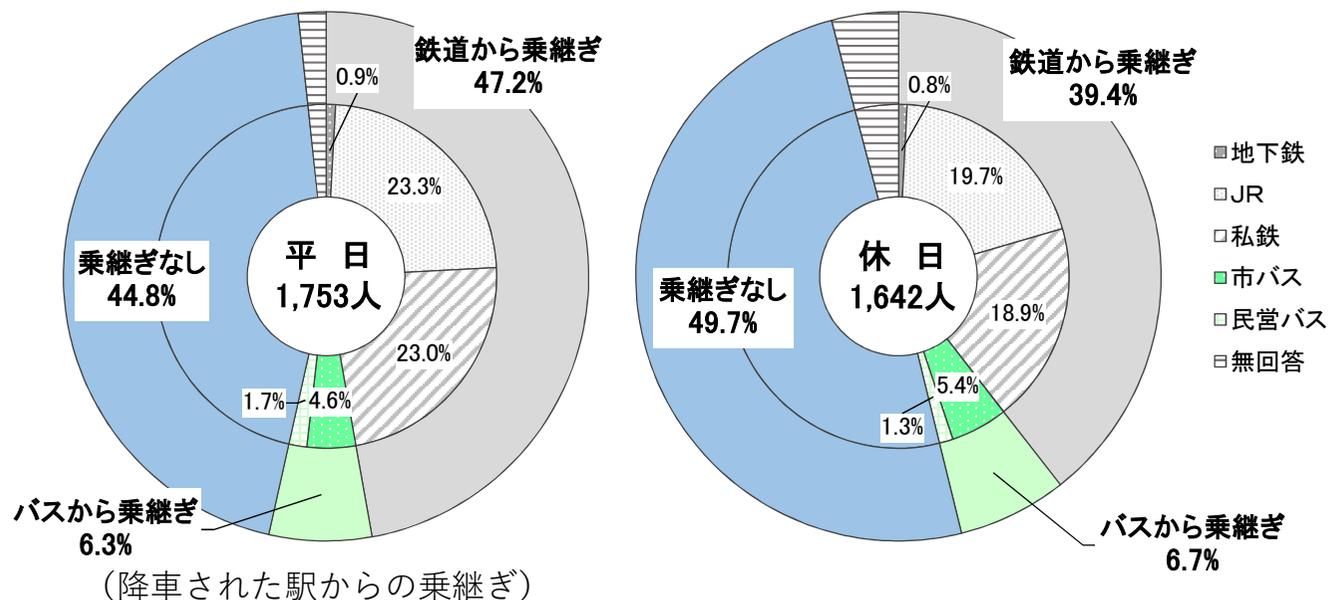
- ・乗車前は鉄道からの乗継ぎ，降車後は乗継ぎされていない方が最も多い割合となりました。
- ・鉄道やバスから乗り継いで市バスを利用され，降車後は乗継ぎの必要なく目的地に向かわれた方が多いという結果になりました。

※今回の調査は，鉄道と結節するターミナルで，お待ちのお客様に対して調査を行ったため，多くの方が乗継ぎによりバスを乗車されたという集計結果になりました。

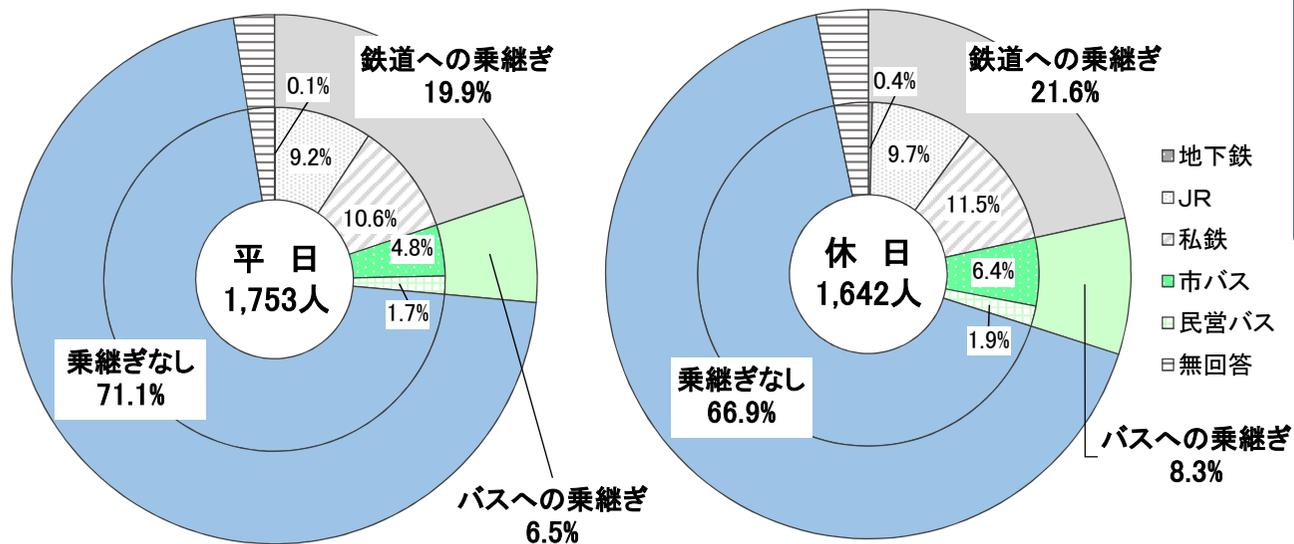
【他の交通機関との乗継ぎ】

<地下鉄>

(乗車された駅への乗継ぎ)



(降車された駅からの乗継ぎ)



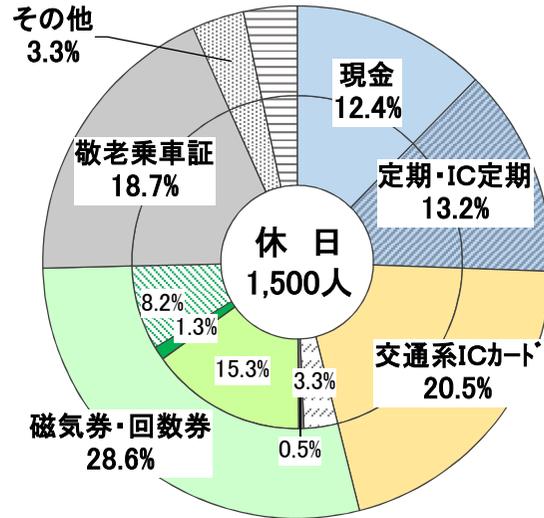
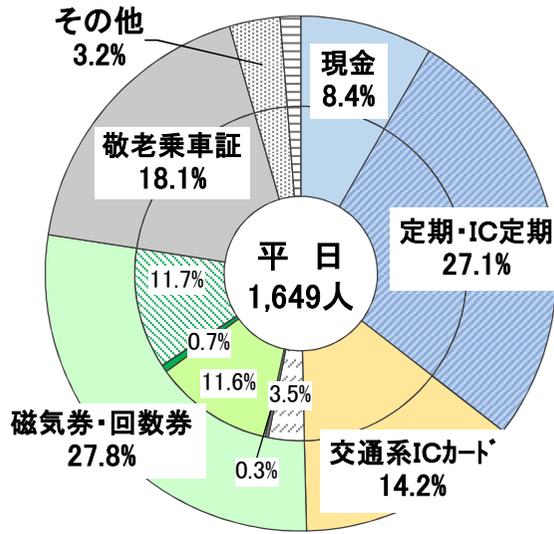
《集計の結果》

② 地下鉄

- 乗車前は、平日では鉄道からの乗継ぎ、休日では乗継ぎなしが最も多く、降車後は乗継ぎされていない方が最も多い割合となりました。
- 乗車前の乗継ぎについては、平日よりも休日の方が乗継ぎされていない方が多い状況でした。
- 市バスと比べ、
 - 乗車前においては、バスからの乗継ぎは少なく、鉄道からの乗継ぎか、徒歩など乗継ぎなし地下鉄を御利用になる方が多い状況でした。
 - 降車後においては、鉄道、バスへ乗継ぎされる方が多い結果となっています。

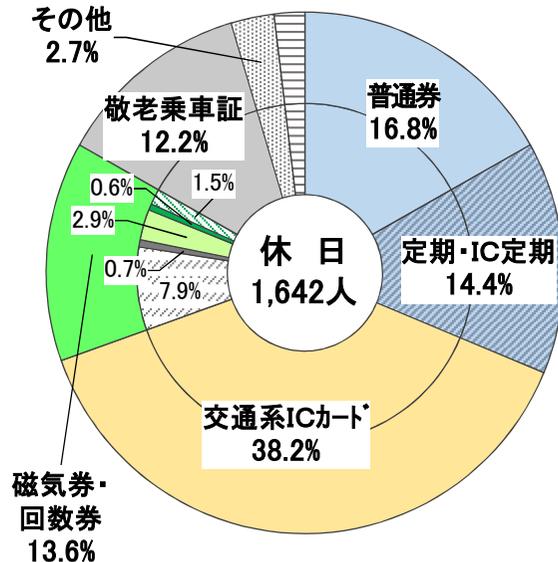
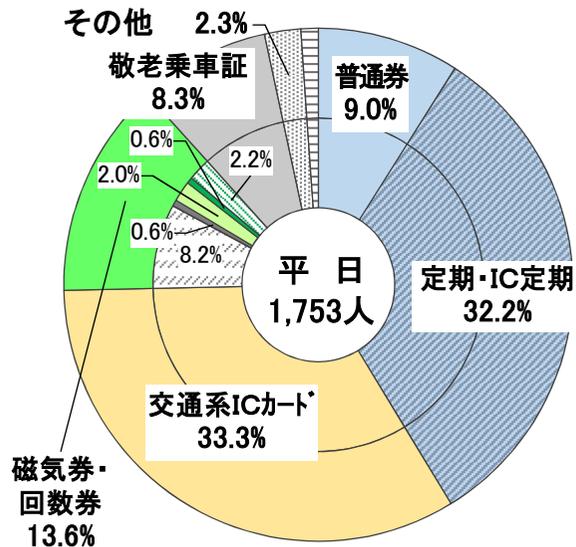
【御利用券種】

<市バス>



- トラフィカ京カード
- スルッとKANSAI
- 市バス・京都バス一日乗車券
- 京都観光一日(二日)乗車券
- 回数券
- 無回答

<地下鉄>



- トラフィカ京カード
- スルッとKANSAI
- 地下鉄1dayフリーチケット
- 京都観光一日(二日)乗車券
- 回数券
- 無回答

《集計の結果》

① 市バス

- ・平日の定期の割合は27%，磁気券・回数券の割合は28%となっています。
- ・磁気券，回数券の割合は平日・休日に大きな違いはありません。
- ・休日は平日に比べ，定期が減少し，交通系ICカードと現金の割合が高くなっています。

② 地下鉄

- ・平日の定期の割合は32%，交通系ICカードは33%となっています。
- ・磁気券，回数券の割合は平日・休日に大きな違いはありません。
- ・休日は平日に比べ，定期が減少し，交通系ICカードと普通券の割合が高くなっています。

③ 市バス・地下鉄

- ・定期券・IC定期券，及び交通系ICカードの割合は，市バスよりも地下鉄の方が高くなっています。
- ・磁気券・回数券の割合は，地下鉄よりも市バスの方が高くなっています。

<参考> 調査票

市バス御利用状況調査

問1 あなたの年齢・性別・住所

- (1) 年齢
 1. 6～12歳 2. 13～19歳 3. 20～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳
 6. 50～59歳 7. 60～64歳 8. 65～69歳 9. 70歳以上
- (2) 性別 1. 男性 2. 女性
- (3) 住所
 1. 京都市北区 2. 京都市上京区 3. 京都市左京区 4. 京都市中京区
 5. 京都市東山区 6. 京都市下京区 7. 京都市南区 8. 京都市右京区
 9. 京都市伏見区 10. 京都市山科区 11. 京都市西京区
 12. 京都府内 13. 京都府外



問2 このバスの御利用目的

1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 業務・仕事
 5. 買い物 6. 観光・レジャー 7. 修学旅行 8. その他

問3 このバスの乗車バス停名と降車バス停名



問4 このバスに乗る直前の交通機関を教えてください。

1. 地下鉄からの乗り継ぎ 2. 私鉄からの乗り継ぎ 3. JRからの乗り継ぎ
 4. 市バスからの乗り継ぎ 5. 民間他社バスからの乗り継ぎ
 6. 乗り継ぎしていない

問5 このバスを降りた直後の交通機関を教えてください。

1. 地下鉄へ乗り継ぐ 2. 私鉄へ乗り継ぐ 3. JRへ乗り継ぐ
 4. 市バスへ乗り継ぐ 5. 民間他社バスへ乗り継ぐ
 6. 乗り継ぐ予定はない

問6 御利用の乗車券

1. 現金 2. 定期券・IC定期券 3. 交通系ICカード 4. 回数券
 5. トラフィカ京カード 6. スルッとKANSAIカード
 7. 市バス・京都バス一日乗車券 (500円カード)
 8. 京都観光一日(二日)乗車券 (1,200円カード, 2,000円カード)
 9. 敬老乗車証 10. その他

問7 京都市バスについて、サービスを良くして欲しいと思う項目について、最大3つまで○印をつけてください。

運行について	1. 運行本数の増加 2. 始発の繰上げ (運行時間帯の延長) 3. 終発の繰下げ (運行時間帯の延長) 4. ダイヤどおりの運行 (定時性の確保)
施設について	5. 案内表示のわかりやすさ 6. バス停施設 (上屋, ベンチ, バス接近表示器等) の充実 7. バリアフリー
乗継利便性について	8. 乗継のわかりやすさ 9. 市バス同士のダイヤの調整 10. 鉄道等とのダイヤの調整 11. 乗継料金の割引 (市バス同士, 市バスと地下鉄間)
その他	12. 車内混雑の緩和 13. 運転操作や案内・接客等接遇の向上 14. お客様へのマナー啓発 15. その他 () 16. 現状で満足している

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

